

2023年9月29日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行  
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復し、投資関連はやや持ち直した。一方、観光関連が一服、雇用情勢は横ばい、生産活動が低調、畜産関連が低迷している。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇や電子部品関連の在庫調整の影響などで勢いがやや減速している。

生産活動は、6月の鉱工業生産指数が12か月連続で前年を下回った。窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械のいずれも前年を下回った。

畜産関連では、8月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、7月の家電大型専門店販売額はほぼ前年並みだったものの、7月の乗用車新車登録台数、百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア販売額、コンビニエンスストア販売額、8月の軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、8月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、8か月連続で前年を上回ったものの、種子島・屋久島地区、奄美地区ともに8か月ぶりに前年を下回った。主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を上回った。

雇用情勢は、7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.20倍となった。

### 【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の勢いに鈍化が見られ、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。

7月の焼酎生産は、3か月連続で前年を下回り、出荷量は2か月連続で前年を下回った。

6月のかつお節生産は、9か月連続で前年を上回った。

8月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが6か月ぶりに前年を下回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を下回り、全体では11.0%減と4か月ぶりに前年を下回った。

8月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

### 【畜産関連】... 低迷

8月の子牛の出荷頭数、価格はともに前年を下回った。8月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が5.4%減と10か月連続で前年を下回り、去勢A3は7.8%減と12か月連続で前年を下回った。7月の枝肉生産量は前年を上回った。

8月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は10.9%増と8か月連続で前年を上回った。7月の枝肉生産量は前年を下回った。

8月のプロイラー相場（東京地区）は、もも肉は5.3%増と14か月連続で前年を上回り、むね肉は11.4%増と43か月連続で前年を上回った。8月の処理羽数は前年を上回った。

8月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は38.2%増と12か月連続で前年を上回った。7月の配合飼料価格は34か月ぶりに前年を下回った。

### 【消費関連】... 回復

7月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では22か月連続で前年を上回った。

7月の専門量販店販売額は、家電大型専門店がほぼ前年並み、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

7月の乗用車新車登録台数は、7か月連続で前年を上回った。車種別にみると、

普通車は 45.1% 増、小型車が 7.8% 減となった。

8月の軽自動車届出台数は3か月ぶりに前年を上回った。

### 【観光関連】... 一服

8月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、コロナ5類引き下げなどで、8か月連続で前年を上回った。関東、関西、中部、香港、中国などからの入り込みや団体客が増加した。

鹿児島地区は、関東、香港、中国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、13か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関西、関東、香港などからの入り込みや団体客が増加し、8か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、中部などからの入り込みや団体客が増加し、前年をやや上回った。

種子島・屋久島地区、奄美地区ともに、台風6号の影響などから、8か月ぶりに前年を下回った。

8月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

### 【投資関連】... やや持ち直し

8月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

7月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を上回った。

7月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を下回ったものの、貸家が前年を上回り、全体では2か月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を上回り、6.0%増となった。

7月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

### 【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を下回った

7月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙、木材が前年を下回り、全体では38.2%減と5か月連続で前年を下回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を下回り、全体で27.9%減と2か月連続で前年を下回った。

**【雇用情勢】… 横ばい**

7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント下回る1.20倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

**【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った**

7月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.3%上回った。

**【企業倒産】… 倒産件数は前年と同数**

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（6件）と同数だった。また負債総額は3億4百万円で前年同月（3億52百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)